（別紙）

①路上工事抑制カレンダーの効果の検証について

ｉ路上工事抑制カレンダーで設定した抑制日の的確性

平成１８年度～平成２０年度における昼間の１２時間交通量上位５０位で検証した結果、３地区における的中率は次のとおりであった。

鳴子地区においては、毎年抑制日を新たに加えたり、修正していることで、的中率が年々上がっている。

気仙沼地区においては、抑制日以外の平日の交通量が多いことから60パーセント程度で推移している。

作並地区においては、６月、７月、９月、１０月及び１１月の土曜日、１１月第１～第３金曜日を抑制日を新たに加えたことから的中率が上がっている。

